

南丹市の中心市街地をめぐり

・園部町中心市街地整備改善計画・

新市建設計画の中で、「南丹市の都市拠点」と位置づけられている園部町中心市街地では今、再開発事業が進められています。南丹市の中心市街地がどのような姿に変わろうとしているのか、その概要をお伝えします。

●園部町中心市街地の現状

園部町の市街地では昭和五十八年から平成十一年にかけて、「外環状線」と呼ばれる市街地の周回道路が整備されました。しかし、店舗などの集まる中心市街地については整備が進んでいませんでした。園部町全体の人口や店舗面積・販売額などが増加しているにもかかわらず、中心市街地の人口や店舗面積・販売額などは減少し、「空洞化」が進んでいます。こうした中で、中心

市街地の整備改善と地域の活性化を目指して事業が進められています。

●「中心市街地活性化基本計画」

園部町中心市街地整備改善計画は、平成十一年に策定された「中心市街地活性化基本計画」に基づき、国道九号線と旧山陰街道沿いに古くから発展してきた本町商店街を中心とした十一・六ヶ所を中心市街地と位置づけています。「重点整備地区」の整備方

針として、既存店舗の集約・再編成、公益機能を持った施設の整備、商店街のモール機能・組織力・個店の魅力の強化、都市景観の配慮、安全でスムーズなアクセスの確保、魅力ある住環境づくりなどをあげています。

そして、中心市街地整備改善計画は、都市計画街路事業と土地区画整理事業という二つの事業が進められています。

●都市計画街路事業の概要

上本町佛大線は、平成二十一年度の完成を目指して、平成二年度から整備が進められている幅員三十メートルのシンボルロードです。市役所前から国道九号宮町交差点まではほぼ完成し、今後は引き続いて、京都銀行園部支店前の交差点までの用地買収と拡幅工事が進められます。

内環状線（第一工区）は、平成九年度から事業が進められ、平成十九年四月の供用開始に向けて最後の仕上げ工事を進めています。

●土地区画整理事業の概要

国道九号線 上本町佛大線、

